

この彗星は、アメリカ・ニューメキシコ州の H. J. Brewington が口径 41 cm の反射望遠鏡で、1月7.18日 (UT) に 9.8 等級で発見し、1月7.24日にキットピーク天文台で A. Hale が確認している。

国立天文台では木内氏の観測 (1月7.47569 UT) は、Brewington の発見後わずか 0.3 日しかないこと、及び木内氏よりの通報を受け取った時刻から判断し、IAU へは木内氏の独立発見があることを通報した。

尚、IAUC 5159 には、この木内氏の独立発見と共にオーストラリアの A. Bradfield の独立発見も報じられている。

IAUC 5160 その他によると、この彗星は 1906 年 11 月 15 日にアメリカ・マサチューセッツ州の J. H. メトカーフにより 13 等級で発見され、周期約 7.78 年と求められていた 1906VI 彗星と同じ彗星であるという。この 1906VI メトカーフ彗星は、その後の回帰では全く観測されておらず、英国天文協会の天文ハンドブック 1975 年版によると 1911 年 9 月、1935 年 8 月、1969 年 8 月に、それぞれ 0.86 a.u., 1.17 a.u., 1.05 a.u. にまで木星に接近して、木星と 3:2 の共鳴関係にある。今回の発見で、84 年ぶり 11 回目の回帰で検出されたことになる。

ちなみに、1906 年の出現と今回の出現でのティスランの定数は大変良く一致している。

1991 年 1 月 10 日 香西洋樹

佐藤勝彦氏に仁科賞

東京大学理学部物理学教室の佐藤勝彦教授が、このほど第 36 回仁科記念賞を受賞した。受賞題目は、「素粒子論的宇宙論」であった。

佐藤勝彦氏は、素粒子物理学における基本的相互作用の大統一理論を初期宇宙に応用し、多くの業績をあげた。すなわち、大統一理論の予言する真空の相転移が宇宙初期に起こり、その結果、宇宙が何十桁も指数関数的に膨張することを示し、単純なビッグバン宇宙論をインフレーション宇宙論へと発展させた。そして、宇宙の大規模構造の種となりうる揺らぎがインフレーション時に生成し得ること、また、宇宙のバリオン非対称をつくる CP 対称性の破れが自発的に起こるものであったとしても、インフレーションによって地平線が十分広がり、現在観測されているように、大きな領域にわたって一様に正のバリオン数をもつ宇宙が実現することを示した。

佐藤氏はさらに、この相転移の進行にともなって、母宇宙、子宇宙、孫宇宙、……、と宇宙が自己相似的に多重発生することを示した。これは、「唯一絶対の宇宙」という古典的な宇宙観を、「多種多様な宇宙の中での我々の宇宙」という考え方に変更することを迫った、画期的なものであった。近年、ホーキングらによって、簡単

化した量子重力理論に基づく宇宙創生論が精力的に研究され、我々の宇宙が実現する確率まで議論されるようになってきているが、こうした研究の背景には、佐藤氏を嚆矢とする上述のような宇宙観の変遷があることを忘れてはならない。

このほか、佐藤氏は素粒子物理学の新理論が予言する種々の粒子について、その存在が初期宇宙の元素合成等に与える宇宙論的影響、及び、それが星の進化等に与える天体物理学の影響を調べ、それによってこうした粒子の性質に制限をつけることを世界に先駆けて行った。

このように佐藤氏のあげた業績はいずれも、世界的にみても先駆的なものであり、この十年間にこの分野が飛躍的に発達し、天文学及び理論物理学の独立した分野となるまで成長するに至った原動力となったものである。その意味で、受賞題目として「素粒子論的宇宙論」という、この分野のテーマそのものが冠せられたのは、まことに当を得たことであった。

なお、佐藤氏は現在、国際天文学連合宇宙論委員会委員長を務めており、また昨年 9 月には、宇宙初期の元素合成と初期宇宙の進化に関する国際会議を主催するなど、世界的に活躍している。 横山順一 (東大理)

お知らせ

第 22 回三菱財団自然科学研究助成について

本会宛に表記の募集要項 (平成 3 年度) が来ています。応募を希望される方は学会事務所にご連絡下さるか、個別に下記宛、返信用封筒 (175 円切手貼付) 同封の上「三菱財団自然科学研究助成応募要項」をご請求下さい。

宛先 財団法人 三菱財団

〒100 東京都千代田区丸の内 2-5-2

三菱ビル 15 階 Tel. 03-3214-5754

助成の金額は総額約 2 億 5 千万円、1 件 2 千万円以内、研究期間は原則として 1 年、応募締切は平成 3 年 4 月 10 日 (水) 必着。(極力早めにお出し下さい。)

基礎物理学研究所短期研究会

「ブラックホール天体物理学の研究」

天文学の世界では、クェーサーや活動銀河核の中心部分、あるいは X 線連星の一員として、ブラックホールの存在が確実視されつつある。しかし、ブラックホールはこれまで物理学では単なる理論物理の興味の対象として、天文学では巨大な重力源としての役割しか期待されていなかった。この研究会では、日本の分散しているブラックホールの研究者が集まり、宇宙に実在するであ

うブラックホール本体に焦点を合わせ、その実像に迫りたい。そして、ブラックホールの物理学（熱力学・電気力学、……）を調べ、周辺の降着円盤・磁気圏との相互作用を通じての進化などを議論し、ブラックホール天体物理学に新しい局面を切り開くことを目標とする。

世話人：岡本 功，加藤正二，齋木 修，佐々木 節，
富田憲二，富松 彰，横沢正芳

日 時：3月12, 13日

場 所：京都大学基礎物理学研究所宇治

講演を御希望の方は早急に下記の連絡先に御申し込み下さい。なお、認められている旅費は40万円です。

講演申込先：

〒023 岩手県水沢市星ヶ丘町 2-25

国立天文台理論天文学研究系

Tel. 0197-24-7111 (249)

Fax. 0197-22-2141

岡本 功

国立天文台太陽物理学研究系教官公募

公募人員：助教または助手1名

公募分野：太陽物理学

太陽物理学研究系では、地上・スペースからの太陽観測、及び理論的研究を行っており、太陽フレア望遠鏡計画やSolar-A衛星計画を推進しています。これらの計画に参加し、広い視野を持って太陽物理学の研究に積極的に取り組む研究者を求めます。

着任時期：決定後なるべく早い時期

応募資格：大学院修士課程終了、またはそれと同等以上の能力を有するもの。

提出書類：(1)履歴書、(2)研究歴、(3)論文リスト及び主要論文の別刷、(4)自薦の場合、研究計画、及び本人について意見を述べられる人二人の氏名と住所、(5)他薦の場合、推薦書(後程当方から選考に必要な資料を被推薦者に請求することがあります)。

提出先：〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長 古在由秀

公募締切：平成3年4月15日(月)必着

問合せ先：国立天文台太陽物理学研究系主幹

日江井栄二郎

電話 0422-41-3720

その他：封筒の表に「太陽物理人事応募書類在中」と朱書きし、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議会において行います。

国立天文台位置天文天体力学研究系教官公募

公募人員：助教授1名

所属研究系：位置天文・天体力学研究系

公募分野：天体力学

着任時期：決定後なるべく早い時期

勤務地：東京都三鷹市

応募資格：博士号取得者またはそれと同等以上の方

提出書類：(1)研究歴を含めた略歴書(写真添付)、(2)研究論文リスト及び主要論文別刷またはコピー(各3部)、(3)これまでの研究内容の概略(研究論文リスト主要論文と対応させる)、(4)着任後の研究計画、(5)自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6)他薦の場合は推薦書

提出先：〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長 古在由秀

公募締切：1991年4月15日(月)必着

問い合わせ先：国立天文台 位置天文・天体力学研究系

主幹 宮本昌典

電話 0422-41-3616 or 3782

その他：封筒の表に「天体力学人事公募書類在中」と朱書きし、簡易書留でお送りください。選考は、国立天文台運営協議会において行いません。

名古屋大学理学部物理学教室教官公募

1. 公募人員：助手1名

2. 所属部門：理論共通部門(Tx研)

3. 専門分野：宇宙と素粒子の境界領域

4. (1)着任時期 決定後できるだけ早く

(2)任 期 5±2年

5. 提出書類：履歴書、研究歴、研究計画、論文リスト、主要論文(3編以内)別刷各2部
推薦書があれば添付

6. 公募締切：1991年5月1日

7. (1)宛 先 〒464-01 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室
主任 黒田義浩

(2)公募に関する問い合わせ先

名古屋大学理学部物理学教室

富松 彰

電話番号 052-781-5111(内線 3549)

Fax. 052-781-3962

8. その他：封筒に「理論共通部門応募書類」と朱書きし、書留でお送りください。適任者のいない場合は、決定を保留することがあります。